



こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

- ホームページ URL <http://www15.onn.ne.jp/~oikawahp/>
- Eメールaddress oikawahp@oa.mbn.or.jp

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

No. 18 2009年7月 発行

基本理念

及川病院のめざすこと、その役割と大切なこと

親切

私たちは親切な対応とわかりやすい説明を心がけ、患者様の身になって行動しています。

信頼

私たちは患者様の一日も早い快復、社会復帰を願い、信頼され、心の通い合う医療に努めています。

専門

私たちは乳癌の診断から治療、緩和ケアまでを担う専門病院として、女性の生涯にわたる心身の健康を総合的に守ります。

進歩

私たちは常に新しい医療・療養環境を学習し、分析・反省を繰り返し、より優れた医療の提供を目指し進歩し続けます。

日本は四季があるというだけでも美しい国だと思います。今の季節は「梅雨」と呼ばれ雨が多い時期ですね。雨が降ることを「天気が悪い」とか「ぐずつく」などとあまりいい表現はしませんが、濡れた花びらはより鮮やかな色を放ったり、雨が一休みして差し込む光は眩しいくらいです。生活の上でも雨は大切な恵み、ちょっと考え方を改めて季節を楽しみたいものです。

当院では5月～6月と「母の日乳がん検診応援キャンペーン」を行ってきました。職員さんたちの発案で始めたのですが、目的は検診率の向上にありました。最近では映画やドラマなどで乳がんが取り上げられたりして、早期発見・早期治療の啓蒙は進んでいると思います。しかしそれでもまだまだ不十分な数字です。本来病院とは行きたくないところ、行きづらいところから、「親子で」とか「友達同士で」なら行きやすいかもしれないと考え出した企画でした。ご近所のお菓子屋さんの協力もあって、重くなりがちなイメージを少しは明るくできたかと思えます。ご近所の協力得られたことは、地域での活動ができたことにもなりました。ささやかな企画でしたが、これをきっかけに一人でも多くの方が検診に来ていただけたなら、私たちの目的は果たせたと思っています。情報発信と機会の提供、私たちの使命の一つとして今後も取り組んでいきたいと思えます。



乳がん看護認定看護師に合格しました

乳腺の専門病院である及川病院に『乳がん看護認定看護師』が誕生したことは、今後、さらなる質の高い医療の提供につながると考えています。

乳がん看護認定看護師とは、日本看護協会が認定した教育課程で6か月の研修を受け、その後、認定審査に合格してはじめて認定される資格です。その歴史はまだ浅く、2006年に最初に20名の乳がん看護認定看護師が誕生し、全国に現在78名が活躍しています。そのうち福岡県では7名が活躍中です。この度その研修に参加し、5月の認定審査で新たに28名の合格者があり、その仲間と共にこれから、「乳がん看護認定看護師」として、少しでも乳がん患者様のお手伝いのできればと考えています。

乳がん看護認定看護師の大きな役割としては、医師から告知を受けた後の気持ちのサポートやご自身に適した治療を納得して選択するためのサポートをします。また、手術後では乳房の補正についてのサポートや日常生活について、治療による副作用に対する支援や相談を行います。また、教育面では、乳がん患者様に関わるスタッフの看護の質の向上を図るため、スタッフ指導にも力をいれたいと考えています。

“乳がん”と告知を受けた後、多くの方が不安や恐怖などさまざまな気持ちを抱きます。ご本人のみではなく、家族やパートナーも同じような気持ちを抱くことでしょう。

乳がん看護を行う中で心のケアも大切に、患者様とご家族、パートナーの力となれば幸いです。今後のことを一緒に考えていきましょう。どんな些細なことでも構いませんので、お一人で悩まずいつでもご相談下さい。



乳がん看護認定看護師
乳腺・一般病棟主任
白石 君江



緩和ケア病棟便り

緩和ケア病棟医長

江頭 真理子

着任して半年が経ちました。

スタッフそれぞれの気どころも分かってきて、私流も理解してもらえずいぶん疲労感が軽減してきました。

前の職場でもそうでしたが、患者も家族も私たちスタッフもみんな横一直線の関係と考えているという事を理解してもらえるのにはいま少しの時間が必要なのでしょうか？

職種の違いは人間の上下とは関係無いのです。だから、患者さんが看護師さんには言える冗談を自分に言ってもらえないのはさびしい。

「このことは先生には言わんでね。」という記事を読むと泣けてきます・・・

スタッフとの関係もそうで、一人の人間としてお互いの気持ちを語り合う事の出来る真の友がここでもできると良いなあと感じる今日この頃です。



緩和ケア病棟 デザートバイキング 開催！

5月21日、初めてのデザートバイキングは大好評でした！

10種類の手作りデザートを用意。

(栄養科スタッフが心を込めて作りました！)

その場で焼いたドラ焼きも大好評。

全てのデザートを制覇した患者さまもいらっしゃいました。

人気のデザートはバナナコッタや生チョコ。

バイキング会場が笑顔でいっぱいになりました。



新任医師紹介！

萩尾 康子



はじめまして。

4月から月曜日に外来を担当させていただいています。

乳腺に関する不安・悩みを抱えている女性がとても多いことを実感している今日この頃です。

少しでも不安・悩みを解消できるようにお力になればと思います。

どうぞよろしくお願ひします。

及川病院は今年も、親子や友人と一緒に誘いあって検診においでいただけたらという主旨のもと、お二人以上で一緒にお見えになるとお帰りの際に、お菓子をプレゼントするキャンペーンを行いました。

検診にお見えになられた方からは「キャンペーンのおかげで、娘と一緒に検診に来てよかった」との声をいただきました。

最近ではマスメディアでも乳がんの早期発見を訴える記事をよく目にするようになりましたが、我が国の乳癌検診の受診率は10%にすぎません。

乳がんは早期発見で治癒率が上がる病気であり、乳がんの早期発見は乳腺専門病院の重要な使命だと当院は考えています。

Oikawa Hospital

母の日乳がん検診

応援キャンペーン

乳がんの早期発見は、乳腺専門病院の重要な使命だと及川病院は考えています

ひとりでは行きにくい検診でも、誰かといっしょなら……そう思っている方へ、ささやかな母の日のプレゼントをご用意いたしました。

親子でいっしょに、友達といっしょに

期間中に2人以上で検診にみえた方に、「お菓子の店パンフの表紙」の素敵なラッキーをプレゼント。自分のためにも、そして家族のためにも大切な身体を守ってくださいませ。

乳がん検診に行きましょう。

5/1～6/30

※キャンペーンの期間

対象：「母の日のプレゼント」ですが、結婚・未婚・既婚・再婚は問いません。必ずお二人以上、同日同時検診にご参加ください。ご参加の人数はどなたが代表で構いません。その際「母の日キャンペーン」で申し込むと、お返しにさせていただきます。【自費による乳がん検診】となります。詳しい検診内容につきましてはご予約の際にお尋ねください。【医師の検診はできません。】

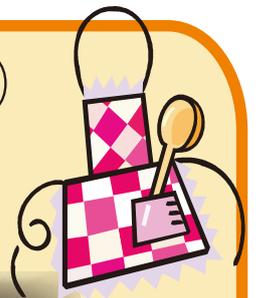
プレゼント：検診終了後に「パンフ表紙」のラッキーを受け取っていただけます。

及川病院 092-522-5411

院長 及川 幸子

〒730-0852 広島市中区本町2丁目21-18 (伊予屋から徒歩約5分) ●ホームページは「及川病院」で検索

栄養科おすすめメニュー その④



食欲のない季節にツルツルっと食べたい和風スパゲッティ。消化を助けてくれる大根おろしと、さわやかな香りの青じそをのせてさっぱりとポン酢でいただきます。

和風スパゲッティ

材料 4人分

スパゲッティ	300g
バター	10g
／こしょう	適量
牛コマ切れ	200g
玉ねぎ	大きめの1コ
サラダ油	適量
濃口醤油	大さじ2と1/2杯
砂糖	大さじ3杯
酒	大さじ2杯
みりん	大さじ1杯
出し汁	100cc
ほうれん草	1袋
しめじ	150g
バター	10g
塩	適量
こしょう	適量
大根（おろす）	小さめ2分の1本
大葉	4枚
刻みのり	適量
ポン酢	小さじ4杯



作り方

- ①牛コマは食べやすい大きさに切る。玉ねぎは薄くスライスする。鍋にバターを入れて熱し牛コマと玉ねぎを炒める。しんなりしてきたら、酒、みりん、砂糖、濃口醤油、出し汁を入れて煮る
- ②ほうれん草は茹でて3センチの幅に切る、しめじと一緒にバター、塩、こしょうで炒める
- ③大根はすりおろす。大葉は千切りにしておく
- ④スパゲッティを茹でる。鍋にバターを入れて熱して、塩、こしょうをして炒める④を皿に盛り、真ん中に②をおき、上に①をのせる。最後に大根おろしをのせて、周りに大葉と刻み海苔を散らし、ポン酢(青しそ系のドレッシングでも良いです)をかける。

乳癌を発見、診断するための画像診断法について述べます。これにはマンモグラフィ、超音波検査（エコーグラフィ）、乳管造影、CT、MRI、などがあります。それぞれの特徴や得意の面をいかに示します。

1) マンモグラフィ

マンモグラフィは従来は乳房に異常が疑われた場合に行われていましたが、最近では、超音波検査とともに、視触診では検出できないような病変、とくに微小石灰化が検出可能のことがあり、一次診断としての重要性が認識されるようになりました。わが国でも乳癌検診のスクリーニング検査として導入されています。

マンモグラフィは低エネルギー（低電圧）の軟X線を用います。これは乳房が乳腺組織と間質繊維組織の正常組織とそれから生じる悪性や良性の病巣のX線吸収値の差が少なく、コントラストが少ないため、また乳房への被爆線量を少なくするような専用の撮影装置を用います。したがって、胸部X線撮影装置などでは代用できません。また、高感度、高コントラストのフィルムと増感紙を使用します。デジタル画像処理も行われます。

撮影は通常両側乳房の2方向撮影（頭尾方向と内外斜位方向）が行われますが、検診などでは内外斜位方向のみのことがあります。なお、撮影時に乳房をできるだけ圧迫することにより、乳房の厚さを減らして散乱X線を減少し、コントラストが良い画像を得るようにします。しかし、人により痛みを感じることもありますので、その際は遠慮なく「痛い」と言ってください。できるだけ痛くないようにします。

圧迫スポット撮影は、怪しい部分を圧迫筒を用いて一部のみ圧迫し、高コントラスト画像が得られ、診断能力が向上します。

マンモグラフィ診断上重要なことは、正常乳腺の状態が個人により著しく異なることです。とくに、年齢（閉経前か閉経後か）、妊娠、授乳の有無、月経周期などにより乳腺実質の密度と脂肪組織の量的関係が異なります。閉経前の若い女性では乳腺実質が皮膚直下まで存在し、濃度、密度が高く、乳腺はすりガラス状で内部構造がわかりにくく、マンモグラフィ検査の苦手とする年代です。したがって、乳癌検診でも40歳代にはマンモグラフィとともに超音波検査の併用が進められています。一方、閉経後の高齢女性では、乳腺実質が退縮、死脂肪化し、乳房全体は透過性が増し、梁柱構造が網状にみられ、異常所見は検出しやすくなります。

マンモグラフィの所見として腫瘍、石灰化、乳腺実質や皮膚の様子をチェックします。千四腫瘍などの良性の腫瘍は一般的には辺縁は明瞭、平滑（ときに透亮帯がみられます）で、円形や楕円形が多く、ときに分葉状のことがあります。これに対して、乳癌の腫瘍陰影は円形であることは少なく、不整な多角形であり、境界は不明瞭や鋸歯状であることが多いですが、どのような形でもありえます。ときにスピキュラとよばれる腫瘍からウニのとげのような放射線状の線状陰影がみられ、また腫瘍陰影ないに石灰化がみられます。

マンモグラフィの石灰化像にも良性と悪性があります。粗大な石灰化や単発性のもは良性ですが、乳がんでは微細な石灰化が密に集まったり、乳管に沿ったり、不均一、分枝状、多形性などがみられます。重要なことは触診では検出されない時期にマンモグラフィで石灰化が認められ、そのうち乳癌であることがしばしばあります。これが乳癌検診のポイントの一つです。